

# 平成 27 年度予算 まちの家計簿

平成 27 年度当初予算総額  
97 億 4,629 万円

平成27年度一般会計、5つの特別会計、水道企業会計の各予算が3月の第一回定例町議会で審議され、成立しました。

当初予算とは、1年間で町がどのくらいの収入を見込み、そのお金をどのように生かしていくのかを示しています。

今月の広報では、新年度予算の概要や、まちの方向性を示す「町政執行方針」の5つの重点施策を紹介します。

※記事中のグラフの数値は1万円未満を切り捨てているため、総額と内訳が必ずしも一致しませんので、ご了承ください。

## 予算書「アクティブくっちゃん」

平成27年度予算説明書「アクティブくっちゃん」を5月1日（金）に発行します。

ここで紹介できなかった事業や、町の財政状況について掲載する予定です。

今月の記事と併せてお読みいただければ、より深く町の財政や町が目指す将来像を知ることができる内容になっております。ぜひご一読ください。

■お問い合わせ／

町企画振興課広報広聴係

☎ 56—8001

一般会計は2年ぶり増額  
予算総額も1%増

※ 一般会計は、75億1,300万円で、前年度当初予算と比べると2.4%（1億7,800万円）増となっています。前年度比で増加したのは、平成25年度以来2年ぶりです。

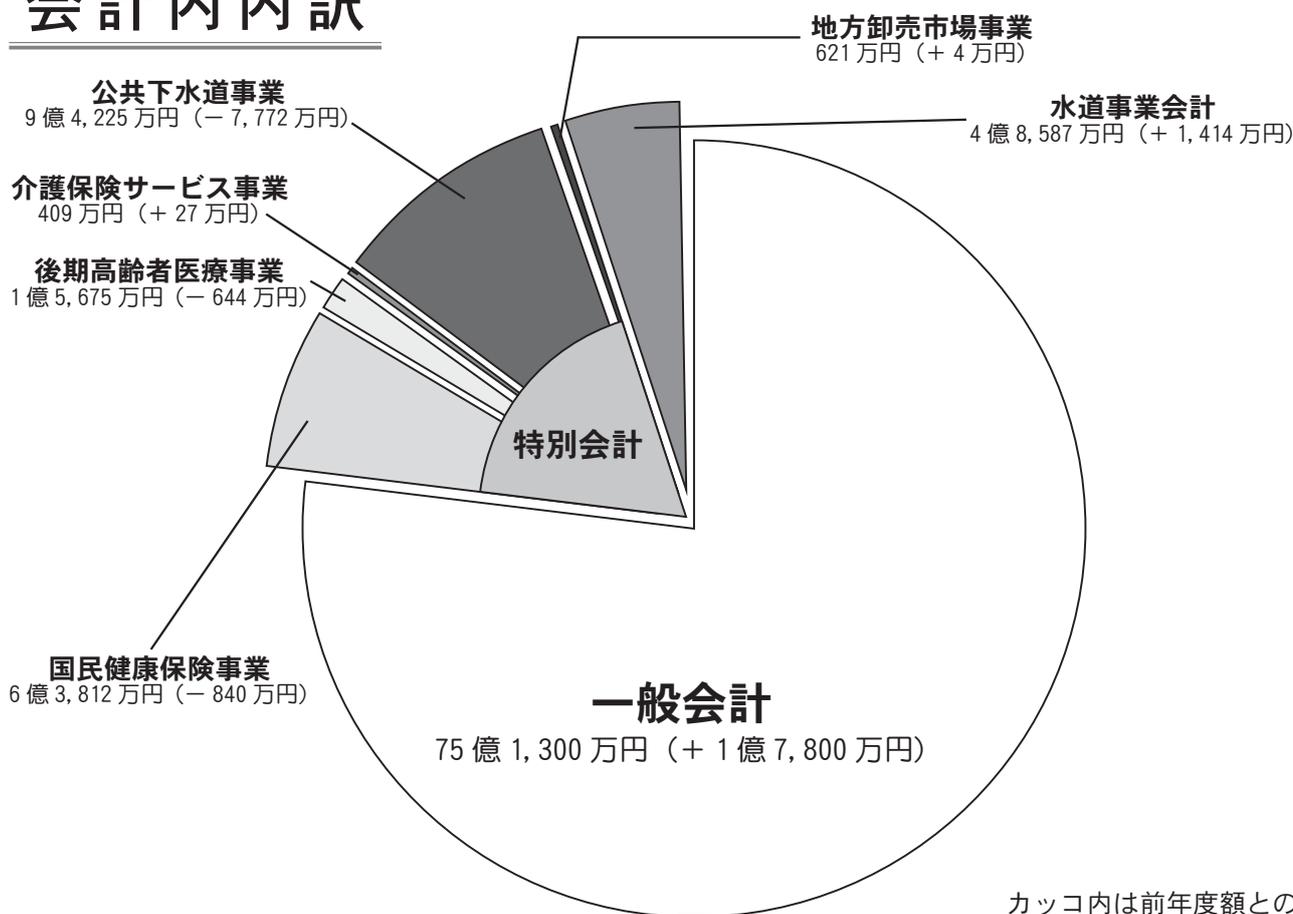
大型事業として、羊蹄団地（4号棟）長寿命化等改善事業（1億4,886万円）、学校給食センター新設事業（1億3,055万円）などを計上しています。また、医療費の無料化を中学生まで拡大したことに伴い、乳幼児等医療費助成を前年度よりも増額し4千万円計上するなど、新規事業、継続事業ともに必要な事業を精査・計上した結果、増加となっています。

一方で、抑制できるところは抑制するなど、コスト削減にも取り組み、事業の優先度・緊急性・重要性などを考慮し、新年度予算を編成しました。

5つの会計から成る※特別会計については、17億4,742万円となっており、これは前年度比5%（92,255万円）の減となっています。

一般会計、特別会計に、※水道事業会計を併せた予算総額は、前年度96億4,640万円から1%（998.9万円）増の97億4,629万円となり、5年連続の増加となります。

## 会計内内訳



カッコ内は前年度額との比較

## 語句解説

### 一般会計

税金を中心とした収入で、福祉・教育・道路など幅広い範囲の事業を行う会計です。

### 特別会計

特定の収入で特定事業（国保・後期高齢者医療・介護保険・下水道・地方卸売市場）を行う会計です。俱知安町の場合、次の5つを特別会計として設けています。

- ① 国民健康保険事業  
主に、国民健康保険加入者の医療費を給付します。
- ② 後期高齢者医療事業  
主に、75歳以上の方の医療費を給付します。
- ③ 介護保険サービス事業  
主に、地域包括支援などの介護事業の運営管理の経費を支出します。
- ④ 公共下水道  
主に、下水道管や下水処理施設の整備や維持管理を行います。
- ⑤ 地方卸売市場  
主に、町地方卸売市場施設の維持管理を行います。

### 水道事業会計

独立採算による事業を経理する会計です。主に、水道水の供給や水源、水道管の整備や維持管理を行います。



### 町税は微増傾向を維持 地方交付税は微減

一般会計のうち、歳入（収入）は、全体の31・6%を占める※地方交付税が23億7200万円、前年度当初より2・9%（7200万円）減となっています。次いで27・5%を占めている※町税は20億6681万円、前年度当初より2・3%（4699万円）増となっています。

町税などの基準財政収入額の増額や、※町債の返済に充てる金額の減少による公債費算入額の減少などにより、普通交付税が9200万円減の20億3200万円となっています。普通交付税の減額は、25年度以来3年連続となります。特別交付税を加えた地方交付税全体でも、26年度から2年連続減額となっています。

町税については、緩やかな景気回復などで法人町民税が1892万円の増収、個人所得も微増したことから個人町民税も3140万円の増収を見込んでいます。また、ひらふ地区の大型ホテル建築や市街地の量販店等の出店などを踏まえ、固定資産税も1676万円の増収を見込んでいます。一方で、町たばこ税は消費量の減少などを考慮し、1854万円の減収を見込んでいます。

町税は平成23年度以来5年連続微増ではありませんが、増加し続けています。

### 町債残高増・基金残高減 財政不足分を補うため

歳入については、町税の微増のほかに、地方消費税交付金が昨年4月の消費税増税に伴い、前年度比43・5%（8700万円）増など、増収を見込めるものも多くありますが、依然として財政状況は厳しいものとなっています。そのため、財源不足分を補うため、※財政健全化基金を3億2千万円取り崩し、町債の借入についても前年度比27・2%（1億3270万円）増の6億2110万円となっています。

町債の返済額は前年度比9・2%（6849万円）減の6億7509万円となっていますが、今後予定される事業実施に伴う新規借入に備え、町債残高を極力増やさないよう努めております。

それにより、一般会計の町債残高は、平成27年度末で、72億7539万円となる見込みです。

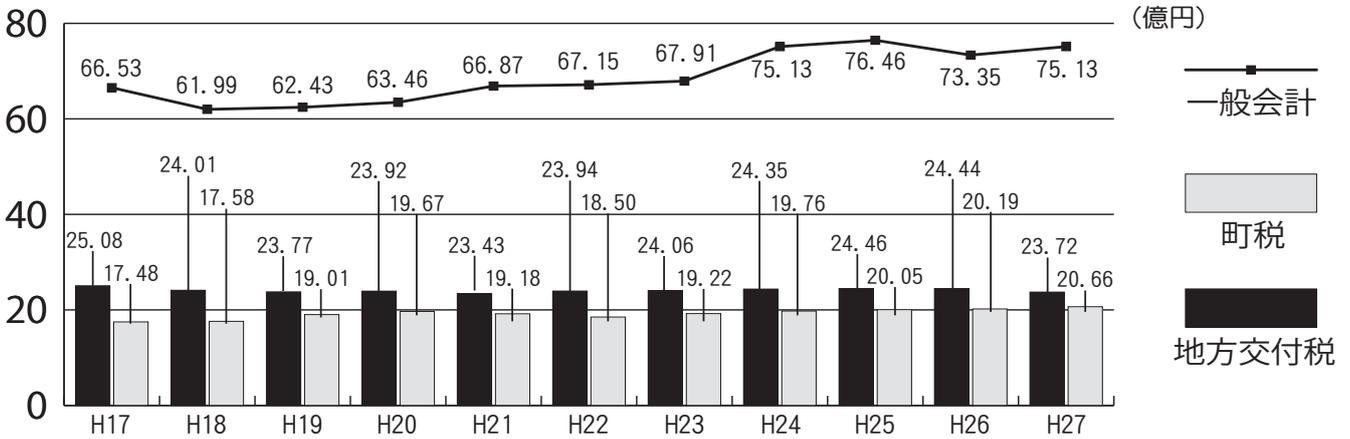
#### 町債残高

平成26年度末(予定)	72億4,527万円
平成27年度末(予定)	72億7,539万円

#### 基金残高

平成26年度末(予定)	14億7,792万円
平成27年度末(予定)	10億8,288万円

一般会計予算・地方交付税・町税の推移



### 地方交付税

基準財政需要額（町が合理的で妥当な水準の行政活動を行うために必要な財政需要を、各行政項目ごとに算定して求めた需要額）と基準財政収入額（町の標準的な税収入の一定割合により算定された収入額）との差額に対して、国から交付される普通地方交付税と、それ以外の特殊な財政需要に対して交付される特別地方交付税からなります。

### 町税

税金には国、都道府県、市町村それぞれに納めるものがあり、その中で町に納めるものを町税と言います。町民税や固定資産税、軽自動車税、入湯税、町たばこ税などがあります。

### 町債

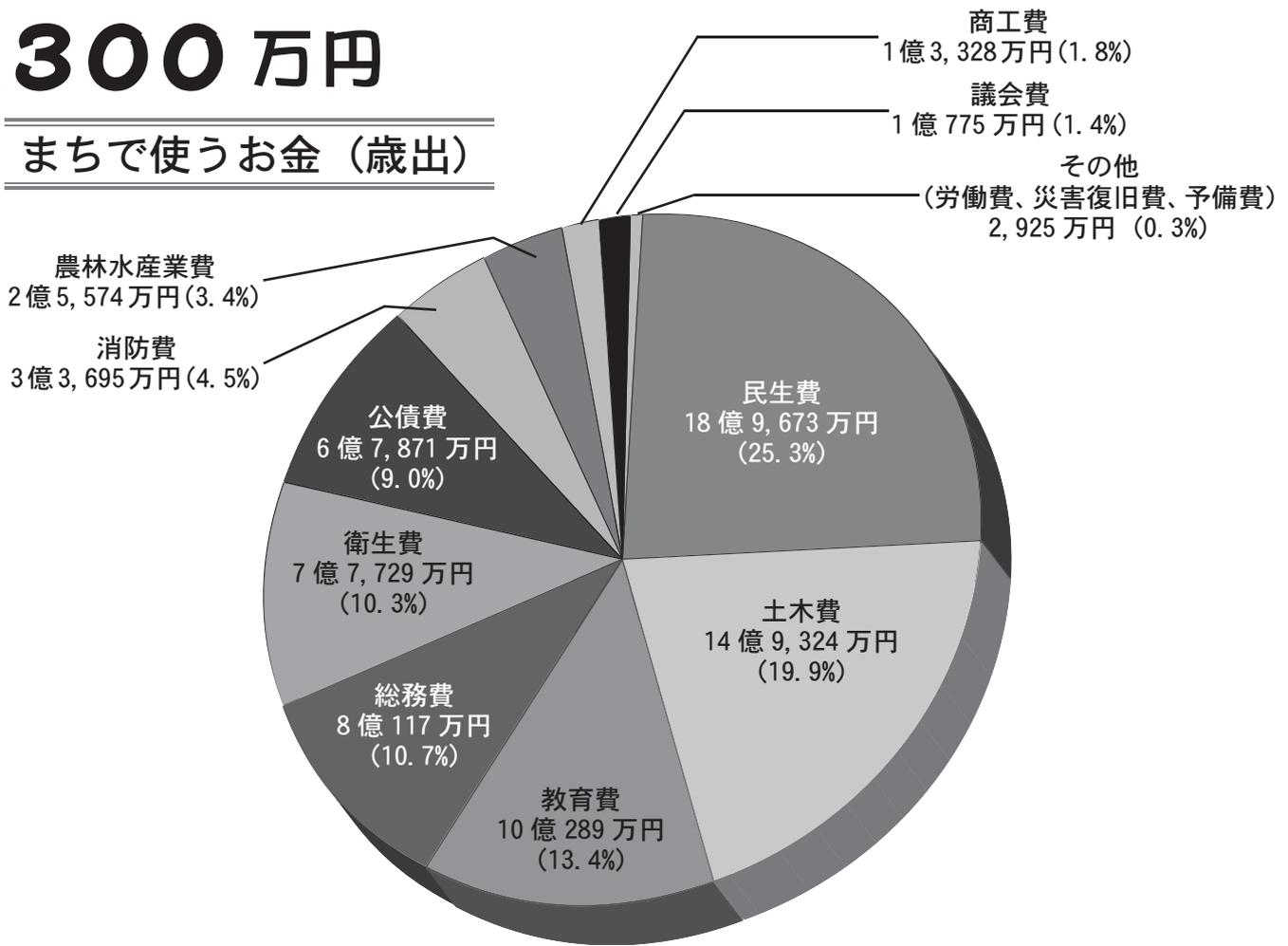
町の長期にわたる借入金のことです。道路や橋、学校などのように、長期にわたって利用される施設の建設に必要な資金について、財政的負担の軽減と世代間の負担の公平を図るという観点から、町債という形でお金を調達（借金）して対応しています。

### 基金

家庭に例えると「貯金」に当たります。歳入不足を補ったり、決まった目的のために取り崩したりできるものなど、俱知安町には13の基金があります。そのうち、財政健全化基金は、財源不足を補うために積み立てた基金の一つで、収入が支出を上回った場合、その全部か一部を積み立てることが法律で決まっています。

# 1,300万円

## まちで使うお金（歳出）



### 【前年度との比較】

- ▽民生費：前年度比6447万円増  
介護給付費・訓練等給付費、乳幼児等医療費助成事業の増など。
- ▽土木費：前年度比403万円増  
羊蹄団地長寿命化等改善事業、旭ヶ丘総合公園水遊び広場大型遊具新設事業の増など。
- ▽教育費：前年度比1億5588万円増  
学校給食センター整備事業、東小学校・西小学校屋体用温風暖房機更新事業の増など。
- ▽総務費：前年度比165万円減  
ひらふ高原地区街路灯設置事業の増、胆振線代替バス路線維持費等補助事業の減など。
- ▽公債費：前年度比6814万円減  
起債元利償還額の減。
- ▽消防費：前年度比626万円増  
羊蹄山ろく消防組合負担金、防災行政無線線保守点検事業の増など。
- ▽商工費：前年度比1661万円減  
ひらふ高原地区観光中核施設実施施設事業の増、道道二セコ高原比羅夫線街路樹整備事業の減など。
- ▽議会費：前年度比1077万円増  
議員共済会負担金の増など。

### 一般会計歳出状況

## 町民一人あたりに使われるお金

### 衛生費

医療、予防接種、ごみの収集・処理など



49,047円

### 総務費

町民活動推進、交通安全対策など



50,553円

### 教育費

学校教育、生涯教育など



63,282円

### 土木費

道路、除雪、町営住宅、新幹線など



94,223円

### 民生費

福祉、児童館、保育所など



119,683円

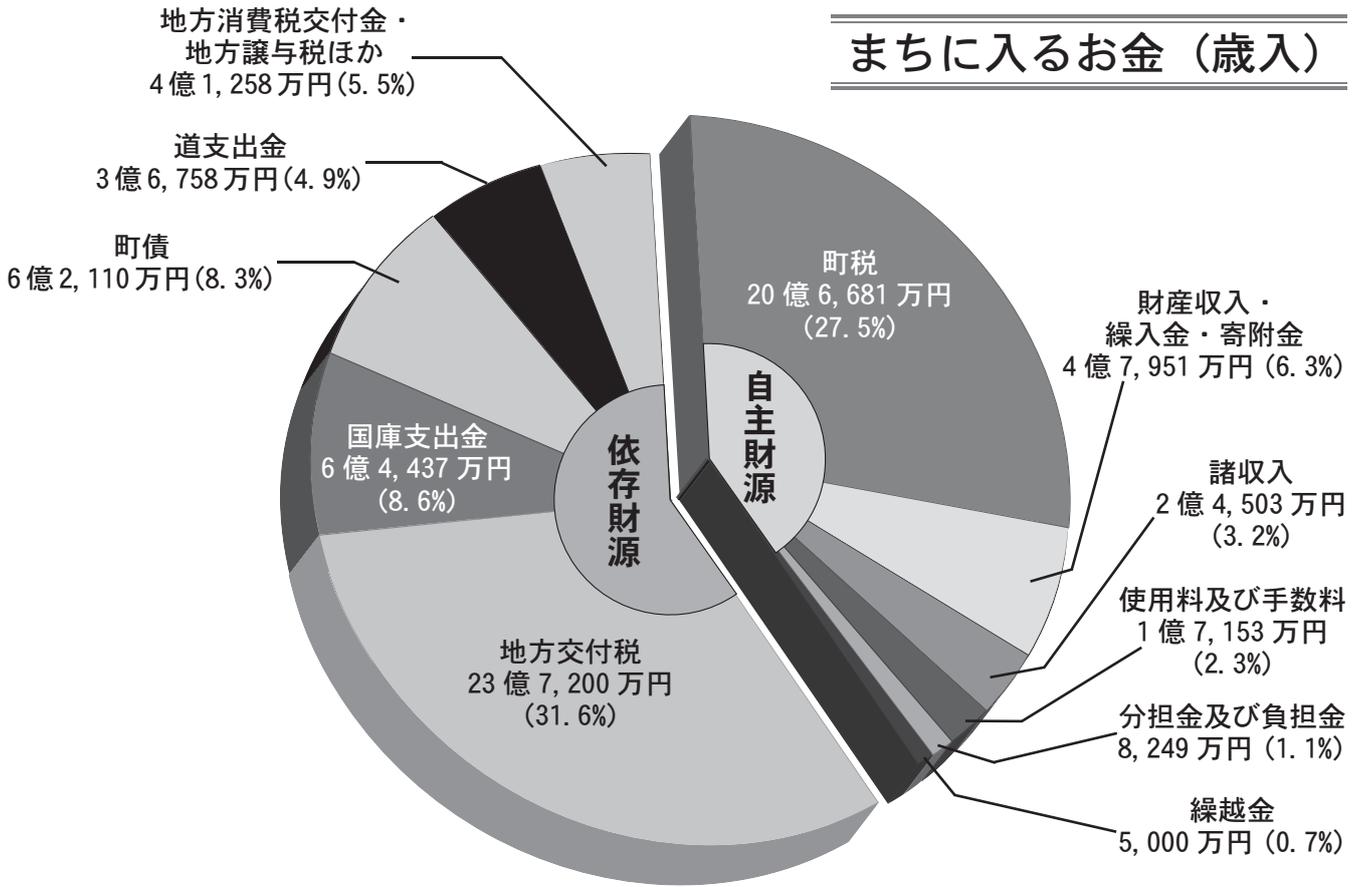
2月末現在の人口から算出  
(15,848人)

合計

474,066円

# 一般会計 75 億

## まちに入るお金 (歳入)



### 【前年度との比較】

- ▽繰入金：前年度比4581万円増
- 財政健全化基金繰入、公共施設整備基金繰入の増など。
- ▽諸収入：前年度比6635万円減
- ▽ごみ焼却施設関係町村負担金の減など。
- ▽使用料・手数料：前年度比340万円減
- ▽パークゴルフ場使用料の減など。
- ▽国庫支出金：前年度比3344万円減
- 災害復旧費国庫負担金、社会資本整備総合交付金の減など。
- ▽町債：前年度比1億3270万円増
- 学校給食センター整備事業債、羊蹄団地長寿命化等改善事業債の増など。
- ▽道支出金：前年度比3197万円増
- 農業費補助金（多面的機能支払事業推進補助金等）、国勢調査委託金の増など。

### 一般会計歳入状況

### 語句解説

#### 自主財源

町が独自で得ている収入。

#### 依存財源

国や道などから交付される収入や、町の借金。

#### 公債費

町の借金の返済



42,826 円

#### 消防費

消防組合への負担金、防災など



21,261 円

#### 農林水産業費

農業、畜産業、林業など



16,137 円

#### 商工費

企業、商店街、観光など



8,410 円

#### 議会費

議会、町議会議員など



6,799 円

#### その他

労働者、労働施設、災害復旧費など



1,845 円

# 平成27年度 重点施策

3月の第1回定例町議会で、西江栄二  
俱知安町長が表明した平成27年度町政執  
行方針では、重点施策として5つの柱を  
掲げています。それらについて、主な事  
業をご紹介します。

## 子育て支援

いつの時代も、子どもは家庭や社会  
の宝であり、地域全体で支えていくこ  
とが大切です。

子どもが夢と希望を持ちながら、健  
全にたくましく成長することができ  
よう、子育て環境の支援・充実を推進  
することとし、中学生までの医療費の  
無料化と、放課後児童クラブの土曜日  
の受入体制について、見直しを行っ  
てまいります。

また、保育所統合と新設整備に向け、  
検討を進めてまいります。

## ◆主な事業◆

### ▼医療給付扶助事業

事業費…7220万円

(前年度比880万円増)

例年は重度心身障害者や母子家庭  
乳幼児医療費について給付扶助を行っ  
てきましたが、今年度からは中学生ま  
で医療費無料を拡大します。

### ▼地域型保育事業（新規）

事業費…200万円

0～2歳児に保育を提供した20人未  
満の施設に対して、一定の基準に該当  
する場合、保育給付費を支払います。

### ▼放課後児童クラブ運営事業

事業費…1743万円

(前年度比153万円増)

職員体制を常時2名とし、安全・安  
心な運営に努めるとともに、受入場所  
の一つである北児童館のトイレを洋式  
へ改修し、受入態勢を整えます。

## 高齢者、障がい者支援

高齢者が住み慣れたこの町で、社会  
参加を果たしながら生きがいを持って  
暮らしていくことができるよう、保健・  
医療・福祉などの環境の整備を進めま  
す。

また、障がいをもった人たちが明る  
い毎日を過ごせるよう、地域生活支援  
事業など障がい者福祉の充実を図って  
まいります。

## ◆主な事業◆

### ▼福祉ハイヤー・バス利用助成事業

事業費…1461万円

(前年度比14万円増)

高齢者や障がい者の方がハイヤーや  
バスを利用する際の費用を助成してい  
ます。

### ▼老人保健対策事業

事業費…2050万円

(前年度比64万円増)

高齢者を対象とする健康診断や各種  
がん検診、感染症予防接種などを推進

します。今年度は肝炎ウイルス健診を  
新たに実施します。

### ▼高齢者障害者世帯訪問除雪作業委託事業

事業費…680万円（前年同額）

支援の希望があった高齢者・障がい  
者世帯に対し、民間事業社による訪問  
除雪を行います。

### ▼地域活動支援センター夢の匠運営事業

事業費…690万円

(前年度比90万円増)

障がい者に創作活動・生産活動の機  
会を提供し、社会との交流促進・自立  
した生活を支援します。



△子どもの元気な姿があふれる町を目指します。



△毎年開催している全町敬老会。今年度は1,430人が対象です（75歳以上）。



## 農業支援

農業は本町の基幹産業であると同時に、人々の生命と健康を支える「食」の原点であります。

本町の農業は、畑作、水稲、酪農など生産物も多様であり、未来へつなげる重要な産業基盤でもあります。

農業の基本は土づくりであり、施肥体系転換推進と地力増進に欠かせない輪作体系の確立を目指します。また、生産基盤の整備等を推進し、地域特性を活かした元気で足腰の強い基盤形成のため、関係機関・団体と連携しながら積極的な活性化対策を推進してまいります。

### ◆主な事業◆

#### ▼農業基盤整備促進事業（新規）

事業費…1065万円

農地の適正管理を目的とし、排水不良の緩和等を行った事業に対して補助します。

#### ▼多面的機能支払交付金事業

事業費…3194万円

（前年度比2646万円増）

農地・農業用水等の良好な保全および質的向上を図るために、一定以上の取り組みを行った地域活動組織に対して、事業補助をします。

#### ▼輪作体系確立事業

事業費…375万円（前年同額）

土壌病害等の被害を防ぐ上で欠かせ

ない4年輪作体系を確実に導入するため、対象作付に対して助成します。



△一面に広がるじゃがいもの花。農業は倶知安を支える大事な産業です。

## 観光、商工業支援

観光業は、本町の経済を支えるもう一つの基幹産業です。ニセコ連峰・羊蹄山・尻別川などの豊かな自然は観光資源であり、スキートの歴史とともに観光産業が大きく発展してきました。

また、商工業は人々の働く場の提供とともに、商品やサービスの提供など、町民の日常生活を支える重要な経済基盤であります。

それぞれの資源の優位性や特性を活かしながら、強靱な産業基盤の形成を目指してまいります。

### ◆主な事業◆

#### ▼スキー場環境整備事業

事業費…1705万円

（前年度比435万円増）

スキー場の駐車場除雪費の補助や、観光中核施設の実施設計業務委託などを行います。

#### ▼商店街活性化事業

事業費…480万円（前年同額）

シール事業や商品券事業・イベント事業などを通じて商店街の活性化を図る倶知安商店連合会に対して、事業補助をします。



△冬になると、国内外からの多くの観光客がスキーを楽しみに来町します。

## 行政改革

財政基盤の安定化・健全化は、いつの時代においても最も重要な課題であります。行政の継続性からも、これまでの慣例にとらわれることなく行政コストの徹底した縮減、行政改革に取り組み、効果的、効率的な行政運営のもとで財政健全化を目指すとともに、行政組織の見直しにも取り組んでまいります。